

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年6月23日(2016.6.23)

【公開番号】特開2014-6508(P2014-6508A)

【公開日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-002

【出願番号】特願2013-106723(P2013-106723)

【国際特許分類】

G 09 G 3/30 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/30 J

G 09 G 3/20 6 1 1 G

G 09 G 3/20 6 1 1 F

G 09 G 3/20 6 2 3 R

G 09 G 3/20 6 2 3 B

G 09 G 3/20 6 2 1 B

G 09 G 3/20 6 2 3 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月6日(2016.5.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の回路と、第2の回路と、発光素子と、を有し、

前記第1の回路は、第1の極性を有する第1の画像信号を保持する機能を有し、

前記第2の回路は、第2の極性を有する第2の画像信号を保持する機能と、前記第2の画像信号が有する前記第2の極性を前記第1の極性に変換することで第3の画像信号を生成する機能と、を有し、

前記発光素子は、前記第1の画像信号に従って発光する機能と、前記第3の画像信号に従って発光する機能と、を有する発光装置。

【請求項2】

第1の回路と、第2の回路と、発光素子と、駆動回路と、を有し、

前記駆動回路は、第1の極性を有する第1の画像信号を生成する機能と、第2の極性を有する第2の画像信号を生成する機能と、を有し、

前記第1の回路は、前記第1の画像信号を保持する機能を有し、

前記第2の回路は、前記第2の画像信号を保持する機能と、前記第2の画像信号が有する前記第2の極性を前記第1の極性に変換することで第3の画像信号を生成する機能と、を有し、

前記発光素子は、前記第1の画像信号に従って発光する機能と、前記第3の画像信号に従って発光する機能と、を有する発光装置。

【請求項3】

第1の回路と、第2の回路と、発光素子と、駆動回路と、を有し、

前記駆動回路は、第1の極性を有する第1の画像信号を生成する機能と、第2の極性を有する第2の画像信号を生成する機能と、を有し、

前記第1の回路は、前記第1の画像信号を保持する機能を有し、
前記第2の回路は、前記第2の画像信号を保持する機能と、前記第2の画像信号が有する前記第2の極性を前記第1の極性に変換することで第3の画像信号を生成する機能と、を有し、

前記発光素子は、前記第1の画像信号に従って発光する機能と、前記第3の画像信号に従って発光する機能と、を有し、

前記駆動回路が有するトランジスタは、結晶性を有するシリコンまたは結晶性を有するゲルマニウムが用いられており、

前記第1の回路が有するトランジスタは、酸化物半導体が用いられており、

前記第2の回路が有するトランジスタは、酸化物半導体が用いられている発光装置。